

歩きスマホをする理由に関わらず、半数は危険な経験をしている

～歩きスマホする理由別に、その内容、危険な経験を見る～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

調査結果1 : 歩きスマホをする理由

調査結果2 : 歩きスマホの内容

調査結果3 : 自身がおこなった歩きスマホによる危険な経験

■ 調査結果

前回のレポート (No. 3) にて、スマホ所有者の内、半数が歩きスマホを行うと報告したが、歩きスマホをしている人は何故行うのか理由を聞いた設問を元に、理由のタイプ別に分け、やっている内容や危険な経験など考察していく。

1-1 歩きスマホを行う理由 タイプ別にみると、「必要だから」58%、「気付いたら」36%、「危険がないから」6%に分かれる

図1の通り、歩きスマホを行う理由は、「その時必要」が多く7割に近くとなり、次いで「無意識」「きりのいい所までやりたい」と続いた。

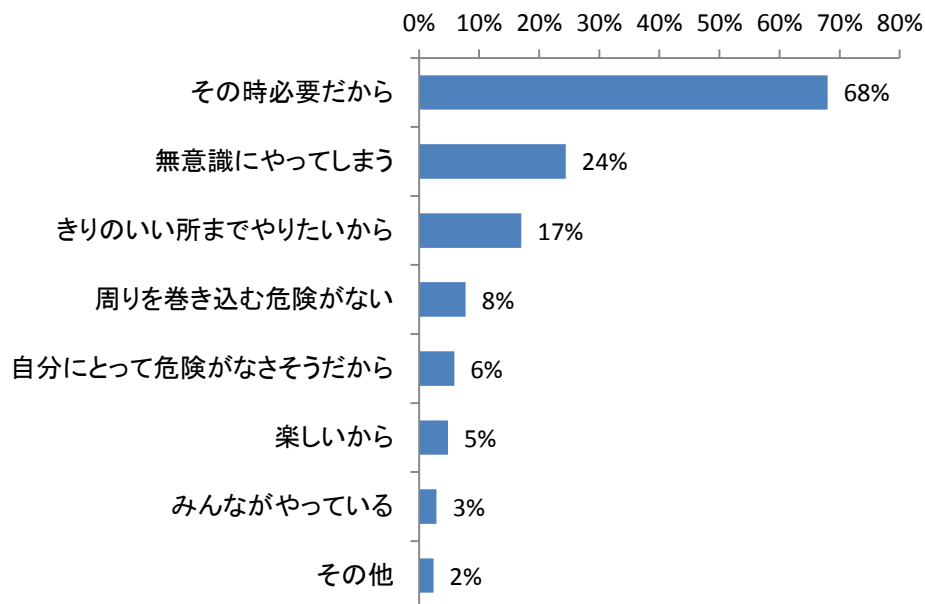


図1 歩きスマホをする理由 MA (n=2, 265)

この結果を元に、統計的処理（因子・クラスタ分析）を行い、グループ分けをおこなった。その結果図2の通り、3つのグループに分けることができた。

意識的におこなっている2つ（必要の有無か危険の有無にさらに分けられる）のグループと無意識におこなう1つのグループである。



図2 歩きスマホを行う理由を元に分けたグループ (n=2, 265)

参考資料に示した通り、このグループの特性は、若干男性では「無意識」が多い傾向が見られたが「年代」に差異は見られなかった。

2 歩きスマホで行っていること

「LINE」「乗り換え案内」「地図・ナビ」「メール」が上位

歩きスマホをおこなっている人は何をしているか、先ほどの示したグループで考察してみる。「LINE」や「乗り換え案内」、「地図・ナビ」「メール」が上位であった。

表1 歩きスマホ理由グループ別に見る、歩きスマホの内容 MA (n=2, 265)

やっていること	平均	平均との差		
		必要だから	危険がないから	気付いたら
LINE	45%	-3	11	3
乗り換え案内情報の検索	45%	2	8	-5
目的地の地図或いはナビ	38%	2	15	-5
メール	33%	-2	9	2
ニュース・天気	22%	-4	12	5
Facebook, Twitter, Instagram	16%	-5	10	6
ゲーム	15%	-4	15	4
動画の視聴	7%	-2	9	2
マンガの閲覧	3%	-1	8	1
その他	4%	-1	-2	2

それぞれの歩きスマホの理由グループ別では、「危険がないから」は全体的に高い。自分や他者に危険がなければ、さまざまなことをおこなっている。次に「必要だから」は、平均からは低い「乗り換え案内」や「地図」が若干高い傾向。「気付いたら」は全体的にやや高い傾向であった。

3-1 歩きスマホの理由を問わず、歩きスマホにより半数が危険な経験

では、歩きスマホを行うことで、危険な経験はしていないか。過去の経験を軸に分析を試みた。図2で示した通り、「何かにぶつかった」「転倒した」人は、約半数に及んだ。具体的には「物にぶつかった」が3割、「人にぶつかった」が2割、「転んだ」が4%であった。この結果を先ほどの歩きスマホをする理由別のグループで合わせてみると、「危険がないから」が高い傾向である。この調査からは、過去にこのような経験をしたから、「自分もしくは他人に危険がないか」と確認して、歩きスマホをしている可能性はあるが、正確な因果関係は分からない。次に「無意識」も「意識的におこなう」グループと比較すると若干高い傾向ではある。

表2 歩きスマホ理由グループ別に見る、歩きスマホによる危険な経験 MA (n=2,265)

危険な経験	平均	平均との差		
		必要だから	危険がないから	気付いたら
ものにぶつかった	29.4%	-3.4	9.0	4.0
人にぶつかった	18.9%	-3.0	2.9	4.4
転んだ	4.2%	-1.3	7.1	0.9
上記経験なし	53.9%	5.0	-5.8	-6.9

グループ感に多少の差は見られたものの、やはり危険な経験はどのグループも遭っている。

今回の調査結果から見ると、「歩きスマホ」を行う理由や行っている内容も異なっていたが、どの理由・内容であれ、危険な経験はしていた。

今回は「自身の歩きスマホ」を軸に分析をおこなったが、次号では「他者の歩きスマホ」による危険な経験を軸に分析をおこなった結果を報告する予定である。

【参考資料】

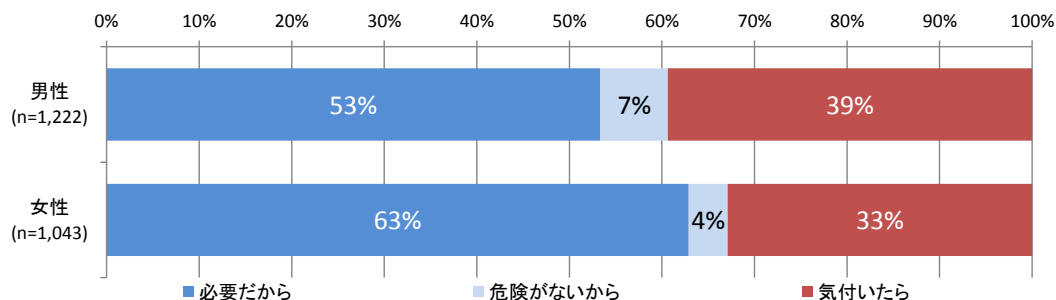


図3 歩きスマホを行う理由を元に分けたグループ（性別）

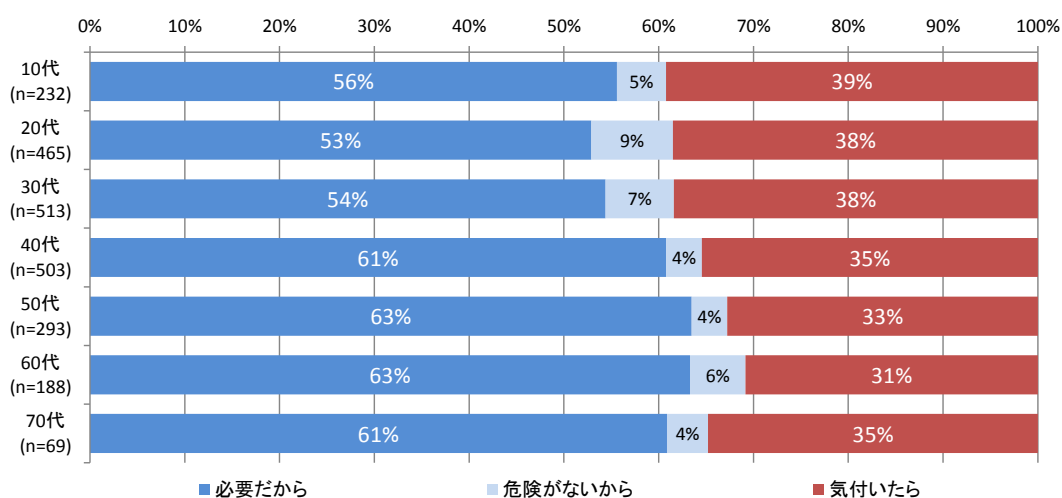


図4 歩きスマホを行う理由を元に分けたグループ（年代別）

■スマートフォンのマナーリーフレット

当調査結果を反映したリーフレットを公開しています。ご活用ください。

http://www.moba-ken.jp/safety_guide/index.html#04

■その他

当調査結果は、2018年9月6日（木）に開催された第46回日本行動計量学会にて、報告しています。http://bsj.wdc-jp.com/2018/common/doc/program_confirmed.pdf

■調査概要（調査名 スマホのマナー・セキュリティ調査 web調査）

調査時期：2018年3月 調査対象：全国、15～79歳男女

標本抽出法：QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都道府県で割付6,000サンプル回収

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087